

はつらつ  
ところっこ

## 研究で培った知識をリハビリ現場に届けたい

国立障害者リハビリテーションセンター研究所  
運動機能系障害研究部 神経筋機能障害研究室長

かわしま のりたか

河島 則天 さん（市内在勤）

京都府出身。2000年に同研究所に入職し、在勤20年を超える。行きつけの店はすべて新所沢。

パラスポーツの現場にサポートとして赴くことも。リハビリをしていた患者が自分の作ったものを使いながら、生き生きと活動していることが、研究の活力になっている。

memo  
河島さんの活動内容  
など詳細はこちら

同研究  
所HP同研究  
室HP

「研究は好奇心の延長です。自分がやりたいことを仕事にできて、恵まれていると思っています」。そう語るのは、国立障害者リハビリテーションセンター研究所の河島則天さんだ。

幼いころから体を動かすこと、新しいことに挑戦するのが好きで剣道、バスケットボール、バレーボール、フットサルなどさまざまなスポーツに取り組んだ。勉学よりも、ものづくりに興味を持ち、高校卒業後は京都の染め職人に弟子入りしようと思っていた。しかし、周囲の勧めでスポーツ実技とセンター試験半分の配点の大学を1つだけ受験したところ合格したため、その流れで剣道三昧の大学生活が始まった。

競技を優先するあまりに就職活動がおざなりになり、警察と大学院の2択から後者を選択する。初めて学問にしっかりと向き合ったことで、もっと研究をしたいと感じるようになった。ただ、在籍していた大学には学びたい領域の博士課程がなかったため、他大学に修士課程から入り直すという再スタートを決意したが、結果は不合格。実のところ一般的な研究者が経る路線とは大きく異なる。

将来の生き方を模索するなかで、偶然にも現研究所で大学の先輩に出会い、研究ができる環境を得た。自己流だった研究手法の手ほどきを受け、本物の研究に触れて大いに刺激も受けた。大学院の

博士課程を経ずに学位を取る「論文博士」を目指すことを決め、研究実績が求められる重圧のなかに身を置いた。実験室での計測、データ分析と論文執筆を繰り返す日々を送り、2005年に見事、博士号を取得する。医療・リハビリ領域で障害者を対象とする研究スタイルが固まっていくなかで、論文という形だけでなく、実生活や医療・リハビリの現場で役に立つものをつくりたいという思いが強くなっていった。

2006年から留学し、リハビリ工学の研究室に入ったことを転機に、2009年に再び現研究所に戻ってからは開発研究主体の路線に方針転換した。

「ものを作ったところがゴールではなく、試作完了がスタートです。実際に使ってみて、当事者や医療職の意見を反映させ、



製品にして、最終的に現場で使われ続けられるものになれば、そこがゴールです」と語る。リハビリの現場にテクノロジーの恩恵が届いていない現状を変えたいと奮闘している。

毎年のように製品化につなげることは相当な労力ではと尋ねると「努力して努力して達成する大きなことではなく、毎日ちょっとしたことを達成することを続けるだけ。自分が作ったものが当たり前に使われることが一番の喜び」とごく自然体な河島さん。隠しきれないストイックな雰囲気は、アメリカで活躍してきた某野球選手を彷彿とさせる。（取材：上地）

## 今月のプレゼントクイズ！

3月30日(月)・31日(火)市民体育館で開催！日本高校ダンス部選手権  
新人戦 東日本大会 観戦ペアチケット  
(2,500円×各日8組16人)



高校1年生ダンサーが集い、フレッシュな感性と全力のパフォーマンスで挑む新人戦が所沢で開催！大会のオフィシャルパートナーである西武鉄道㈱から観覧チケットをプレゼント。30日（スモールクラス）、31日（ビッグクラス）のどちらかを選んでご応募ください。  
◎全席指定です。

●日本高校ダンス部選手権大会事務局  
大阪市西区北堀江 1-3-20 3F  
☎06-6110-2222(平日 午前10時～午後5時)

同大会  
公式HP

## ◆今月のクイズ

10・11・12面のクイズを解き、空欄に入る文字を順番につなげると？

## ◆応募方法（2月10日(火)締め切り）

①クイズの答え②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥電話番号⑦2月号の感想を記入し、〒359-8501広報課（住所不要）に郵送・市HP(Qプレゼント)で応募  
◎当選者の発表は、引換券の発送をもって代えさせていただきます。



## ◆プレゼント提供事業者も募集中！

詳細は、市HP(Qプレゼント募集)をご覧ください。

▲市HP

## 読者感想文

- 新年に相応しい所沢の伝統芸能の特集に感動しました！未来へ伝統をつなぐ活動をされている方々にエールを送ります（緑町・50代）
  - 小学校の音楽会で重松流のお囃子で鈴の担当をしたことを思い出しました（山口・20代）
- 編集から●身近にある伝統芸能を大切にしていきたいですね。2月15日(日)に開催される伝統芸能発表会にも、ぜひ足をお運びください！

- デフリンピックでのメダル獲得めっちゃ感動しました。努力して結果を出した姿は、本当に元気をもらえます。市全体が明るくなる気がするし、もっと応援したくなりました（下安松・10代）

- 「人間国宝」となられた尺八演奏家善養寺さん、同じ市民として大変名誉なことだと思います（小手指南・70代）
- 編集から●さまざまな分野で所沢市にゆかりのある方がご活躍されています！所沢市名誉市民推挙授与式（本紙4面）では尺八の演奏も披露していただく予定です

- 中核市についてところが分かりやすく教えてくれて、良かったです（向陽町・40代）
  - 所沢に引越して30年。どんどん発展する所沢が大好きです。中核市を目指し、今後の変化に期待しています（小手指南・50代）
- 編集から●今後の連載もお楽しみに！

## 編集後記

はつらつところっこの河島さんの研究室には見慣れない装置や機械がたくさん。使い方を覚えるだけでも大変そうだなと思いました。形のない知識やアイデアを形にすべく、3Dプリンターを駆使して試作品を作るそうです。3Dプリンターのおかげで以前よりも試作品を作りやすくなり、テクノロジーの恩恵を実感するそうです。これからも、より便利なものをリハビリ現場に届けてくださるでしょう（上地）

2月はイベントが盛りだくさん！寒くて出かけるのがおっくうになりがちですが、本紙を読んで出かけるきっかけにしてみてもいいかもしれません。厳しい寒さが続きますが、暖かくしてお過ごしください（関）

学校給食展、スイーツや所沢の農産物のイベント、チョコレートのテーマのエッセイなど、どれも楽しくおいしそう♪編集しながら読んでいて、お腹がすいてしまいました（平岡）